

1-1 大学院研究科の使命及び目的・教育目標

A群・大学院研究科の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性

B群・大学院研究科の理念・目的とそれに伴う人材養成等の目的の達成状況

本研究科は、1990年4月、わが国社会の国際化という時代的要請に応じて高度専門職業人養成のために、昼間に企業等組織に勤務する職業人を対象にわが国私学で最初に設置された夜間大学院である「国際政治経済学研究科国際ビジネス専攻修士課程」をその源流としている。その後、2001年4月、文部科学省の制定した「専門大学院設置基準」に従い、国際政治経済学研究科の「国際ビジネス専攻」と「国際経営学専攻」及び国際政治経済学部の「国際経営学科」が整理統合され、独立大学院としての「国際マネジメント研究科」が開設され、国際マネジメント専攻修士課程（私学で最初の専門大学院）と同博士後期課程が設置された。

その後、2003年4月、専門大学院制度の発展的解消による専門職大学院制度の設置により、国際マネジメント専攻修士課程は、「専門職大学院設置基準」に従い、専門大学院から専門職大学院に改組された。国際マネジメント専攻修士課程（MBAプログラム、EMBAプログラム）と国際マネジメント専攻博士後期課程（Ph. D. プログラム、DBAプログラム）により国際マネジメント研究科は構成され、スタートした。2006年4月、博士課程の一層の充実のために、5年一貫制の国際マネジメントサイエンス専攻博士課程に博士後期課程を再編成し、現在に至っている。

上記の通り本研究科は、国際マネジメント専攻修士課程（専門職大学院）と国際マネジメント・サイエンス専攻博士課程から構成される。本研究科は、高い倫理観と国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材を育成することを目標としている。本研究科はこの目的を達成するために、多様なバックグラウンド（出身大学・学部、職業経験、国籍）を持つ学生を対象に、修士課程（MBAプログラム、EMBAプログラム）、博士課程（Ph. Dプログラム、DBAプログラム）を提供している。教員は、高度な研究・教育能力を持ったアカデミック教員以外に実務経験豊富な実務家教員を、ビジネスの各領域のバランスを損ねないように配置している。本研究科はグローバルに通用する教育を行うために、海外の有力ビジネス・スクールとのグローバル・ネットワークを構築し、国際合同授業、学生の国際交流活動、国際共同研究等に取り組んでいる。また、教育内容の高度化のために、教育施設の充実を進めるとともに、教育システムや教材の開発のための研究プロジェクトや産学連携活動にも取り組んでいる。

本研究科は、2003年4月、専門職大学院への移行に伴い、専門職大学院制度の設置の趣旨及び本学の教育方針に準拠して、下記のミッションを制定した。

「国際マネジメント研究科は、国際社会のより豊かな未来を切り拓いていくために、高い倫理観と国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材を育成する。

この使命を果たしていくために、われわれは、

- ・先駆的な学術研究の推進による独創的な知見を創造し、
- ・高度専門職業人養成のための教育プログラムを開発し、
- ・人類共通の知的資産の充実を図り、
- ・世界の高等教育機関との連携によるGlobal Knowledge Networkを構築し、

世界に開かれた学習組織を形成していく。」

このミッション・ステートメントは、憲法における「学問の自由」や学校教育法の「趣旨」、及び「青

山学院教育方針」、「青山学院大学の教育理念」に沿うものであり、国際マネジメント研究科教授会、大学研究科長会、青山学院常務委員会、青山学院理事会及び国際マネジメント研究科外部評価評議委員会の承認を経て制定されたものである。国際マネジメント研究科は、とくに、青山学院のキリスト教主義の教育理念に基づいて、高度専門職業人の「高い倫理観」の涵養と奉仕の精神をもつ「国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材」の育成を教育目標として重視している。

国際マネジメント研究科は、このミッション・ステートメントを実現するために、下記の具体的な目標を掲げて活動してきた。

- ・「先駆的な学術研究の推進による独創的な知見の創造」のために、私立大学高等教育高度化事業の推進
- ・「高度専門職業人養成のための教育プログラムの開発」のために、Global Action Learning教育の実践
- ・「人類共通の知的資産の充実」のために、Global Lecture Data-baseの構築
- ・「世界の高等教育機関との連携によるGlobal Knowledge Networkの構築」のために、ABEST21 (The Alliance on Business Education and Scholarship for Tomorrow, a 21st century organization) の組織化

本研究科は、本研究科のステークホルダーにミッション・ステートメントの周知徹底を図るために、本研究科のホームページ、研究科紹介パンフレット、学生募集要項及び授業要覧等に掲載している。このミッション・ステートメントは、5年サイクルでの見直しを行うことになっており、2008年3月に国際マネジメント研究科経営計画委員会、教授会及び評議委員会の審議プロセスを経て再検討をする予定である。

本研究科は、ミッション・ステートメントを達成するために、学生には以下の使命を求めている。

- 1) 学生は、所定の要件単位を取得し、ミッション・ステートメントを達成するために必要な専門知識を学習していかなければならない。
- 2) 学生は、「経営倫理と宗教」と関連科目を履修し、「高い倫理観」の素養を身につけた人材にならなければならない。
- 3) 学生は、Global Action Learningを学習し、「高い倫理観と国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材」に研磨していかなければならない。
- 4) 学生は、授業に完全参加し、また国際交流プログラムに積極的に参加し、国際マネジメント研究科ミッション・ステートメントを担う人材としての自覚を持たなければならない。

本研究科は、入学時の「フレッシュマン・オリエンテーション」及び各学期開始直前の「学期オリエンテーション」において、研究科長及び教務主任より学生ミッションの説明を行い、その使命に沿った学習活動を行うように求めている。

本研究科は、ミッション・ステートメントの具体的実現のために、本研究科独自の教材の開発、文部科学省の科学研究費基盤研究B-2「アジアのMBA育成の教育システム研究開発」事業、文部科学省専門職大学院支援事業「アジアMBA育成のマネジメントゲーム」事業、そして文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「アジアにおけるインターネットビジネス教育システムモデルの国際開発研究」等を推進してきた。

本研究科は、2001年度に開設されてから2005年度までの修了者は、修士303名、博士5名である（「大学基礎データ」表7）。

このように、本研究科は、上記ミッション・ステートメントに掲げた教育目標に沿って着実に教育・研究活動の実績を築いてきた。現在、今後の具体的な活動目標として、さらなる教育内容の高度化のためにビジネス・スクールの教育の質保証をめざすABEST21の構築を目標とした活動を行うとともに、

1. 国際マネジメント研究科

国際的な視野と高い倫理観を持つ研究者の育成を目的とした5年一貫制博士課程（国際マネジメントサイエンス専攻）の開設と継続的改良のための活動を精力的に行っている。